

巻頭言

健康で元氣な暮らしと

コミュニティづくりプロジェクト

川上村長

奈良県国民健康保険団体連合会理事

栗山 忠昭



川上村は、人口約1,500人のうち65歳以上の高齢者が約850名と高齢化率が57%を超え、高齢化の進む村ではありますが、介護認定率は17%台と吉野郡内でも一番低い割合となっており、標準介護保険料も月額4,500円と県内でも低い額となっております。

これは、即ち健康で元氣なお年寄りが多いということは言うまでもありませんが、ではどうしてそのようなことになっているのかを、平成28年度に65歳以上の高齢者を対象に「高齢者暮らし調査」を、全戸聞き取りで実施いたしました。現在、集計中ではありますが、いずれにせよ、健康の秘訣は見えてくるものと思っております。

この他にも、川上村では、寝たきりにならないよう、また家に引きこもらないよう、保健師が各大字の公民館を回り、「らくらく元氣塾」と銘打って健康体操を広げており、参加者も年々増えてきております。

また、平成28年度より川上村東部地区を拠点とした「東部地区暮らしがっづく集

落づくり事業」で「一般社団法人かわかみらいふ」を立ち上げ、「コミュニティカフェ」「巡回診療」「健康教室」「サークル活動支援」を、社会福祉協議会、診療所、役場各課と連携して実施しております。

この他、地元スーパー「吉野ストア」と「ならコープ」と連携し、食料品を中心とした「移動スーパー事業」、日用品を中心とした「宅配事業」を行い、買い物利便を確保するとともに、宅配時に声掛け等を実施し、生活不安の解消を図っております。

このように、高齢になっても川上村で健康で元氣に住み続けることができる取り組みを展開しております。

さて、村民の健康と切り離せない国民健康保険は、平成30年度に奈良県単位化を目指して、進められております。平成29年度は県単位化に向けての最終年度となります。県と県内市町村が連携を図りながら進められますよう、よろしくお願いをいたします。